

## 北海道および青森県におけるヤマツツジの収集

岡本 章秀

野菜・茶業試験場・久留米支場・花き研究室

### Collection of Torch Azalea (*Rhododendron kaempferi* Planch.) in Hokkaido and Aomori Prefectures

Akihide OKAMOTO

*Laboratory of Floriculture, Kurume Branch, National Research Institute of  
Vegetables, Ornamental Plants and Tea, Kurume, Fukuoka 839, Japan*

#### Summary

Exploration for torch azalea (*Rhododendron kaempferi* Planch.) was conducted in Hokkaido and Aomori prefectures from July 1 to 7, 1996. During this exploration, branches for cutting were collected from 103 trees. It is expected that these may have useful characters for evergreen azalea breeding, such as cold tolerance.

**KEY WORDS** : torch azalea, Hokkaido, Aomori, cold tolerance

#### 1. 目的

現在利用されている緑化用常緑性ツツジの多くは、九州地方に分布する野生種に起原すると考えられ、一般に耐寒性には限界があるとされる。耐寒性をもつ野生種としては、九州の高山に自生するミヤマキリシマ (*Rhododendron kiusianum* Mak.) が考えられるが、生長が緩慢であること、根部特性が弱いことなど、生産性ならびに露地への栽植には不適な遺伝資質を備えている。一方、ヤマツツジ (*R. kaempferi* Planch.) は九州から北海道まで連続的に分布し、耐寒性には幅広い変異をもつと推察される。

このようなことから、耐寒性に優れた常緑性ツツジの育成を行うための手段として、高緯度地域に分布するヤマツツジを交配母本として利用することが考えられる。これまで、そのような地域のヤマツツジについて耐寒性を目的とした遺伝資源の収集が行われたり、育種に利用されたことはない。そこで北海道、東北地方の寒地に適応したヤマツツジを対象に、遺伝資源の収集を実施した。

## 2. 調査方法

挿し木に適した穂木の採取が可能と思われた1996年7月1日から7日にかけて、Fig.1 で示した北海道穂別町および恵山町、ならびに青森県十和田市および十和田湖町において、ヤマツツジの探索と穂木に用いるための新梢を数本つけた長さ40cm 程度の枝梢の採取を行った。なお探索地の選定にあたっては、ヤマツツジあるいはツツジを自治体の花や木に指定している市町村を「NHK ふるさとデータブック」により検索した。得られた穂木は、採取から2～3日後までに挿し木し、発根を促すためミスト室で管理した。



Fig. 1 A map of collecting sites  
ヤマツツジの収集地点

## 3. 収集結果

収集したヤマツツジのリストをTable 1 に示した。

### ①北海道穂別町

オロロップの町有林において、シマロップから坊主山山頂へ探索を行った。探索した道は、エゾシカが利用しているけもの道で、ヤマツツジはこの道沿いに分布していた。探索の結果、標高200～300m 程度のカラマツ (*Larix kaempferi* (Lamb.) Carr.) 林下で8点を収集した。ヤマツツジ以外のツツジ連の種では、エゾムラサキツツジ (*R. dauricum* Linn.) およびムラサキヤシオツツジ (*R. albrechtii* Maxim.) がみられた。

次に、町内の公共施設の植え込みなどに栽植されていたヤマツツジの収集を行った。北海道道民の森には、穂別町の各地区から広くヤマツツジが収集されていた。その中から富内地区から移植された5点と、和泉地区から移植された5点を収集した。穂別町立博物館では、博物館前の築山に植え込まれていた数株のうちから4点を収集した。地元ではヤマツツジは

アカ、エゾムラカキツツジはムラサキと呼ばれ、それぞれ赤色系、紫色系の花色をもつ春の代表的な花として親しまれているようであった。

#### ②北海道恵山町

恵山つつじ公園で収集を行った。この場所は、恵山（標高618m）のふもとにある太平洋に面した丘陵地にあり、面積は45,000m<sup>2</sup>ある。ヤマツツジとサラサドウダン（*Enkianthus campanulatus* (Miq.) Nichols.）の群生地であったところを、町が公園として整備した。ここでみられるヤマツツジはすべて樹高が2 m 以上、地際部の周囲は70cm以上あるりっぱなものであった。計測は行わなかったが、葉形の大きさ、葉面の毛の量および長さに変異があり、これらに基づき40点を収集した。つづいて、恵山の頂上付近を探索した。ガンコウラン（*Empetrum nigrum* Linn.）、コケモモ（*Vaccinium vitis-idaea* Linn.）およびイソツツジ（*Ledum palustre* Linn. var. *dilatatum* Wahl.）などの高山帯から亜高山に分布する種が中心で、サラサドウダンはみられたが、ヤマツツジは分布していなかった。また、宿泊した恵山温泉の敷地内に栽植されていた5点を収集した。中にはサツキ品種と同様な樹形を示す個体が含まれている。

#### ③青森県十和田市

十和田市内から惣辺放牧場にかけて、車で探索した。探索前日から当日の朝にかけて大雨が降ったため、行程の後半部分の山道では、小規模な土砂崩れが数ヵ所でみられた。集落と水田が中心の切田地区（標高150m）において、低木林に接する多年生草本が優占した荒地で3点を収集した。落葉広葉樹が中心の惣辺地区（標高500m）において、樹林内と車道脇の法面で10点を収集した。惣辺放牧場（標高650m）において、入口付近に寄せ植えされていた5点を収集したが、これらの株の来歴については、近くから山取りされてきたのではないかとということだけで、正確なところは不明であった。

#### ④青森県十和田湖町

焼山（標高300m）から仙人平（標高600m）にかけて、車で探索した。落葉広葉樹が中心の湯ノ台（標高450～500m）において、樹林内と車道脇の法面から18点を収集した。町営の放牧地も訪れたが、案内していただく予定の管理人の方が留守であったため、ヤマツツジをみつけることはできなかった。ここではレンゲツツジ（*R. japonicum* Suring.）が多数みられた。

### 4. 収集品の今後の処置

収集した穂木ら現在1点につき5本ずつ挿し木し、苗の養成を行っている。しかし、一部の個体は挿し木時の発根が不良であったため、1点につき1～2本しか苗を得ることができなかった。今後、夏期の高温や乾燥による枯死が予想され、これを回避できた個体についてパスポートデータに入力する予定である。

### 5. 所感

ヤマツツジは、北海道恵山町のように冬の寒さが厳しく（1、2月の月平均気温がそれぞ

れ-1.8, -1.4℃)とも、降水(雪)量が少なければ(1, 2月の降水(雪)量はそれぞれ36, 22mm), 生存が可能である。しかし、ツツジ樹全体が雪に埋もれるような所では、生存が不可能という話であった。穂別町では、九州で育成された園芸品種のクルメツツジ (*R. obtusum* Planch.) を植えると、積雪で枝の先端から数cmずつ枯死して年々樹高が小さくなり、数年後には雪解けと同時にツツジがなくなっているという話であった。このことから、積雪量が多い地域は、常緑性ツツジの栽植に不適であると思われる。

他のヤマツツジ節野生種として、北海道穂別町および恵山町でコメツツジ (*R. tschonoskii* Maxim.) があるということであったが、収集はできなかった。コメツツジは、ヤマツツジ節の中で最も北まで分布する種であり、これまで園芸品種の交配母本として利用されたこともほとんどないことから、今後収集し、特性調査を行う必要があると思われる。

## 6. 謝辞

探索の計画から収集までご協力いただいた(財)世界つつじセンター所長中野勝義氏、実地における探索にご同行いただいた穂別町の高橋博志氏、十和田市役所の坂上孝哉氏に深く感謝の意を表します。また、ヤマツツジの採取を快く許可していただいた穂別町役場、恵山町役場、十和田市役所、十和田湖町役場および青森営林局三本木営林署のみなさんに厚く御礼申し上げます。

## 7. 参考文献

Creech, J. L. (1989) A world occasion of Kurume azalea. 久留米つつじ国際シンポジウム9-23.  
 斎藤文治 (1978) 野生のツツジ. カーデンライフ編. 誠文堂新光社.

**Table 1 A list of torch azalea collected in Hokkaido and Aomori prefectures**  
 北海道および青森県で収集されたヤマツツジの収集地点と点数

収集地		点数
北海道		
穂別町	シマロップ	8 点
	穂別町立博物館	4 点
	北海道道民の森	1 0 点 (うち富内 5 点, 和泉 5 点)
恵山町	恵山つつじ公園	4 0 点
	恵山温泉	5 点
青森県		
十和田市	切田	3 点
	惣辺放牧場	5 点
	惣辺	1 0 点
十和田湖町	湯ノ台	1 8 点
計		1 0 3 点